



落二中だより

令和2年8月7日

第4号

新宿区立落合第二中学校

1学期終了、日常の中で培われたクラスの姿

8月1日に梅雨明けが宣言され、学校に響くセミの鳴き声が夏の到来を告げています。1学期を振り返ると、2か月の休校に始まり、6月に入っての分散登校が4週間あり、ようやく全員そろっての登校が叶いました。7月に入ってからの学級興し。いつもなら、運動会や宿泊行事を実施する中で仲間と共に一つ一つの体験を積み上げ、信頼し協力することの素晴らしさを味わいつつ学期末を迎えるところですが、ようやくクラスとしてのまとまりが見られるようになったところです。そのような中、1年生の作文が届きました。

「私は、中学校に入ったらどうせいじめられると思っていた。そのことばかり考えていて入学式に何があったのかほとんど覚えていない。でも、実際は違った。いじめられるどころかすぐに新しい友達もできた。通常登校になってもそれは変わらずクラス全員で楽しく学校生活を送ることができている。『中学生になったらどうせいじめられる。』そんなことはなかった。いじめられる覚悟は少しもいらない。必要なのは友だちを大切にすることと、誰もいじめないと胸を張って言う事の出来る覚悟、ただそれだけだ。これを全員ができれば、このクラスは世界一楽しいクラスになると思う。これからは、このクラスで毎日楽しい中学校生活を送り、悔いのない1年を過ごしたい。そして私が何歳になっても忘れない世界で一番楽しいクラスを、そのクラスの一員として作っていききたい。」

一生の中でも最も多感な時期である3年間。作文にある不安は、クラス替えのあった上級生を含め、多かれ少なかれの生徒にもあるものと受け止めています。第二次性徴期を迎えた中学生に芽生える新たな自我。自分を主張することと他の人の意見を受け止めること。そのせめぎあいの中で自分が認められること、逆に意見の違いに折り合いを付け、他の人を認めていくことを経験し、大切な社会性を身に付けていきます。私たち教職員は、成長過程の彼らに寄り添い、注意深く見守り、必要な支援を見極めつつ教育活動を進めていきます。保護者の皆様には、引き続きご理解とご協力をお願いします。



今年のゴーヤとゴムの木

◆ 生徒たちの学校生活 ◆

休校、分散登校を経て、本日無事に1学期の終業式を迎えることができました。考えたこともなかったような新しい生活様式、行事等の中止や延期、さまざまな活動の規模縮小などによって、これまで通りとはいかない学校生活でしたが、その中でやれることに精一杯取り組もうとする姿がありました。特に、学習に前向き、意欲的になった生徒が多く、それぞれの進路についても真剣に考え始めています。

思うようにいかない中でも、何かのせいにするのではなく、頑張ろうとする生徒たちに、私達はこれからも寄り添い、一緒に前進していきたいとあらためて今、強く感じています。昨日までの三者面談も含め、保護者の皆様にはたくさんご協力いただき、本当にありがとうございました。2学期もよろしく願いいたします。

(3学年主任 一万田 裕美)

6月の分散登校中は、1学級36人を超える人数を実感することなく生活をしてきた彼らですが、7月からの通常登校開始時は、さすがにその人数の多さに驚いたようでした。そこから、定期考査を経て、あっという間に1学期が終わったように感じています。運動会やいくつかの行事はありませんでしたが、各クラスともに活動を共にしていくうちに、確実にクラスの絆も深まってきているようで、「新しい友だちができた」とスクログに書く生徒もいました。一方で、学級弁論大会に向けた原稿にも多くテーマとして取り上げられていましたが、「社会」や「学校」に対して、疑問をもつ生徒も増えてきたようです。これから多くの迷いを経験しながら、一人の人間へと成長していく難しい時期になってきたとも感じています。

学年の教員一同、そんな生徒の想いに寄り添い、共に考え、成長していきたいと考えています。生徒の様子等、気になることがありましたら、ぜひご相談いただければ幸いです。同一歩調で彼らに関わっていくことが、彼らを正しく導いていくことにつながっていると信じています。

(2学年主任 井出 敦大)

今まで誰も経験したことのない6月スタートとなり、ストレスや不安を抱える中、新しい学校生活様式にも不満を言わず、手洗い・アルコール消毒を徹底し、感染予防に努める姿はとても感心しました。そして、一年生になっての作文。「無事に入學式ができて嬉しかった。」「新しい仲間に出会えてホッとしました。」「先生たちが个性的で、授業が面白い。」「できることは限られていて、つまらないと思うこともあるかもしれないが、今できることを一つ一つ真剣に取り組んでいきたい。」こんな心温まる内容がたくさん書かれていて、私たち教職員もまた一緒に頑張って乗り越えよう！と元気をもらっています。各クラスとも休み時間には笑顔がたくさん増え、それぞれのクラスカラーが段々と出てきています。給食の時間も対面はできませんが、準備で互いに声を掛け合い、給食の時間をしっかり確保できるよう、男女ともに協力し合っている姿が印象的です。これからの成長が楽しみです。

保護者の皆様、4月から多大なご協力をいただきましたこと、感謝申し上げます。梅雨明けから一気に暑さが本格的になりました。お体を大切にお過ごしください。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

(1学年主任 新海 誠)

タブレット配付 6/8・29

新宿区教育委員会では、登校が難しい場合も学習を進められるよう、ネット環境の整備を進めております。今年度は、3年生全員及び1、2年生の希望者にタブレットを貸与しました。



タブレットを操作し、マイページを開きます

また、オンライン学習「ライズ e ライブラリ」と「palstep」の整備が整い、個々の生徒にそれぞれのIDとパスワードが配布され、学習した内容を蓄積し、後に学習の振り返りをしたり、教員がそれぞれの学習の様子をチェックすることもできます。また、生徒と教員、双方向のやり取りのできる機能もあり、有効活用をしていきたいと考えています。

「YouTube」を使つてのオリジナル動画配信も始まり、部活動保護者説明会を部活動紹介動画での説明とするなど活用をしています。今後は、授業動画の配信を始め、様々な活用を工夫していきたいと考えています。

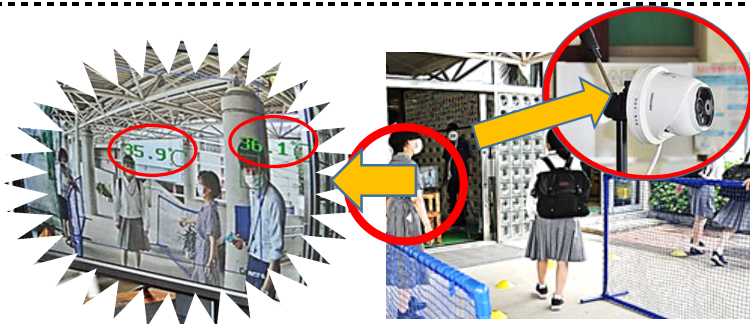


タブレットと充電器を手渡して貸与しました

サーモグラフィの設置 7/2

7月2日に設置された「サーモ」は、一度に20人の体温測定のできる優れもの！職員玄関前に設置された「サーモ」の前を通過すると、モニターの映像に体温が表示されます。

「サーモ」によって登校時の体温測定ができる事から、3学年揃って正門からの登校が叶いました。健康チェック表のチェックを教室で行う、手洗いや消毒についてもエリアを拡大して実施するなど、十分な安全を図りながら、校門から自席につくまでの時間短縮が可能になりました。生徒たちの活動ができる限り日常に近いものになるよう、工夫を凝らしていきます。



再開された部活動のようす 7/7~

ようやく再開した部活動！大切な時間を愛おむようにして、練習に励んでいます。



落二中の部活

面談時のソーシャルディスタンス

2年生は7月29日から、全体は31日から三者面談が始まりました。今学期実施の第1回定期考査と評価・評定の仮評価は5教科のみ。各授業の取り組み状況を教科担任からコメントの形で担任を通してお伝えしました。成果と課題を確認し、次につなげて下さい。



アクリルボードで飛沫感染防止

